
父娘(おやこ)

佐藤 なつめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おやこ
父娘

【Nコード】

N 6 4 6 2 K

【作者名】

佐藤 なつめ

【あらすじ】

父と娘をテーマに描くオムニバス形式の小説。

ひろくん

我が家に、「お父さん」はいない。

いるのは、お母さんと犬のシヨコラと、「ひろくん」だ。

ひろくんは、昭和40年生まれの獅子座、AB型。

18年前、行きつけの喫茶店員だったお母さんに一目惚れしたひろくんは、何とかお母さんの気を引こうと、とにかくアピールしまくった。そしてその努力が実ったのか、結局2人はゴールインし、1年後には私が産まれた。

「お届け物です」

宅配便のお兄さんから小包を受け取る。宛名は松永 博史ひろし様となっている。

ぱつと見た時はぴんとこなかった。この荷物はどうやらひろくん宛らしい。

博史なんて名前は堅苦しいから、ひろくんには似合わない。ずっと前にそう言ったら、ひろくんは、確かにそうだな、と少しメタボなお腹をかかえて大笑いしていた。

そういえば友達の家には、「お父さん」、「おとん」、「親父」——中には「あの人」という人もいた——はいるけれど、「ひろくん」がいるのは、どうやらうちの家だけらしい。

もしかしたら国中探しても、「ひろくん」はうち以外にはいないかもしれない。

それはちよつと寂しい話だ。

ただ一つ言えるのは、私はひろくんが大好きだ。そりゃあ、祐司ゆうじとどっちが好きかって言われたら、もちろん祐司を選ぶけれど……それはさておき。

ちよつと不器用で口下手で、スーツはたまに汗ばんでいるけれど、ゴルフと仕事は人一倍熱心。そんなひろくんが、私もお母さんもシヨコラも大好きだ。もちろん、「お父さん」より何倍も。

だけど、たぶん私がそのことを口に出していうことはないと思う。だって私は、口下手なひろくんの娘だから。

03月05日

「お姉ちゃん」

そう呼ばれて振り返った先にいたのは、御年47歳になる会社員の父だった。

父は普段、私のことをお姉ちゃんと呼ぶ。理由はもちろん、私が和也かずやの姉だから。

私に美晴みはるという名前を付けたのは、どうやら父らしい。見ているだけで晴れ晴れとした気分になれるような輝いた人であってほしいという、父の強い願望が由来だと母は言っていた。

しかも何と父は、神様が、まだ私を男にするか女にするかどうかさえも定められていなかった頃から、生まれた子の名は美晴にする決めていたというから、さらに驚きだ。

あまりにスピーディーな行動に、初めてその話を聞いたとき、私は思わず、男の子だったらどうするつもりだったのか、と、問い返してしまった。

しかし父が私を美晴と呼んだことは、全く記憶にない。自分で名付けておいたくせに、全く……矛盾している。

お母さんのことは「美樹みき」、和也のことは「和也」って名前で呼ぶくせに、私のことは本当に「お姉ちゃん」としか呼ばないものだ

から……実を言うと、たまに父が私の名前は忘れてしまったんじゃないかと心配になるときもなくはない。

「はい、お姉ちゃん。郵便物」

ほら、またお姉ちゃんって言った。

少し顔をしかめながら、封筒を手にする。送り主はなんと数日前に受験した国立大学からだった。

塾が出した予想合格判定はギリギリ50パーセント。直前まで志望校の変更を勧められたが、どうしても通いたくてそれを押し切って受験した大学。

ゆつくりと封を切り、中身を取り出す。まるで割れ物を触るかのよう、とにかく慎重に慎重に取り出していく。

目に入ってきたのは白い紙に印刷された、合格の二文字。

「やったあー！」

「良かったわね、美晴」

「すごいよ、姉ちゃん」

家族が次々にお祝いの言葉を口にする中、ふと目の前に立っている父と視線がぶつかった。

この大学は、父の母校でもあった。

「美晴、おめでとう」

「……ありがとう」

手にしていた合格通知よりも、その後食べたお祝いのケーキよりも、何よりも父のその一言が嬉しかったのは、言うまでもない。

合格通知を手にした03月05日は、私の中で忘れられない記念日となった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6462k/>

父娘(おやこ)

2010年11月22日22時56分発行